

満月

作詩 水沢 泉

作曲 佐藤 晋一

お久しぶりね どうしてらした

あれからとんと お見限り

募る思いが 届いたか

あなたお越しで 思わず涙

かすりもよう
絢模様の たすきを掛けた

わたしのことを 覚えてたのね

お酒に色は ほとんどないが

呑んだら赤く させる水

恋もきまりは ないけれど

落ちたら恥じらう 花になる

お酌する手も ちよっぴり震え

今夜はわたしも 酔ってみたいの

片割れ月も いずれは満ちる

見上げた夜空に 祈ります

酔った弾みの 口説きでも

素面でも一度 聞かせてほしい

恋の苦勞は 女の甲斐性かいしやう

いいのよあなたに する苦勞なら